

普及活動情勢報告（平成28年3月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

生産者の実態や声を、来年度の普及指導計画に生かします ～第2回中央西地区農業改良普及推進協議会の開催～



普及実績を報告する様子

2月25日、生産者・関係機関の出席で、平成27年度第2回中央西地区農業改良普及推進協議会を開催しました。

農業改良普及課からは、環境制御、集落営農や提案型担い手確保の取り組みなど今年度の普及実績を報告し、来年度の普及計画や、これから取り組みを進める県の政策課題、産業振興計画等を説明しました。特に、環境制御技術については、出席者から「勉強して技術を上げれば収量が伸びるはず」との声も出されました。

農業改良普及課は、協議会で出された意見を参考に、生産者の実態や声、関係機関の意見を生かした普及指導計画の実行に取り組んでいきます。

新規就農者への個別面談

～就農状況現地確認～



個別面談風景

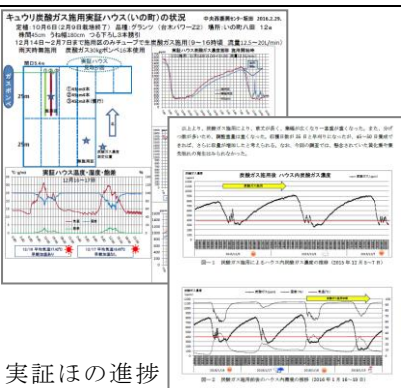
3月8日から11日にかけて、土佐市役所と農業改良普及課で新規就農者との個別面談を行いました。

今回、土佐市内の就農5年目までの28年度の28経営体を対象に、経営内容や現状での課題、今年の経営計画の聞き取りを行いました。経営計画と計画に基づく農地取得等の課題では、労力や資金からみた見通し等を当人と話し合いました。

農業改良普及課では、計画達成に向けて、制度資金や関連事業等の活用、また栽培技術面でのフォローを行っていきます。

中央西地区環境制御普及推進会議を開催

～技術の確立・普及を目指し実証農家も参加～



2月29日、土佐合同庁舎において第2回中央西地区環境制御普及推進会議を開催しました。

実証農家と、環境制御普及推進員、専技、および農業技術センター、担い手育成センター、高知・高吾普及所を含む農業振興センター職員をメンバーとして、計21名で技術の確立、普及を目的として検討を行いました。実証農家等からは、「着果が多く、とても収量が多い(キュウリ)」との声や、「担い手育成センターには灯油使用量もデータで出してほしい」、「報告書の様式をもう少し統一してほしい」などの要望が出されました。

農業改良普及課では、こうした意見を参考にし、県関係機関と連携して今後も環境制御技術の確立と普及に向けて取り組んでいきます。

J Aとさし草花部会のソリダスターにおける天敵導入検討
～導入効果の調査を実施中～



天敵の調査中

J Aとさし草花部会のソリダスターでは、ハダニの薬剤抵抗性が課題となっています。J Aと農業改良普及課で対策を検討した結果、ハダニの天敵導入試験を開始しました。

天敵は、2戸の生産者圃場で2月2日にミヤコカブリダニを、1カ月後の3月7日にはチリカブリダニを放飼して1週間おきに天敵とハダニの発生消長を調査しています。

農業改良普及課では、今後も引き続き調査を採花時点まで行う予定をしています。結果については、草花部会で報告し、ハダニの防除に役立てていきます。